

2025

4.23 (水)

12:10

12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_pMv3ozaWTnygas6kF3GWkA

【技術支援】九州大学 Q-AOS

人とロボットが 共生する社会のための倫理的設計

12 つくる責任
つかう責任16 平和と公正を
すべての人に

Key Words

倫理的設計

AI ガバナンス

標準化

ソーシャルロボティクス

ELSI/RRR (倫理的・法的・社会的課題 / 責任ある研究・イノベーション)

翁 岳暄 准教授

高等研究院

翁岳暄は、九州大学高等研究院稲盛フロンティアプログラムおよび東北大学学際科学フロンティア研究所のクロスアポイントメント准教授である。2017年から2023年まで、東北大学学際科学フロンティア研究所および工学研究科ロボティクス専攻の助教を務めた。学際的研究、特にAIと法の接点に関する問題に関心を持つ。北京大学で法学博士号を取得。2012年北京大学での博士課程在学中、中国初の人工知能における倫理的・法的・社会的課題と市民へ公共情報の自由・無料アクセスに関する二つのイニシアチブであるROBOLAW.ASIA(Ver. 1.0)とCHINA-LII(中国法信息中心)を設立。『The Cambridge Handbook of the Law, Policy and Regulation for Human-Robot Interaction』(ケンブリッジ大学出版 ヒューマン・ロボット・インタラクションの法律・政策・規制ハンドブック)の共同編集者および著者である。

この講演では、技術の急速な進歩に法的措置が追いつけないことから生じるAIペーシング問題に対処するための有望なアプローチとして、倫理的設計の概念について検討します。ソーシャルロボティクスにおける倫理的設計を考慮することに加えて、日常的な人間とロボットの相互作用に内在する倫理的、法的、社会的影響(ELSI)のリスクを利害関係者が効果的に管理できるよう、拘束力のない柔軟なAI倫理基準に基づく規制の枠組みについても議論します。ソーシャルロボットの開発プロセスにAI倫理基準を組み込むことで、ロボット開発者は、ロボット規制のために制定された法律と矛盾することなく、責任ある革新と研究の原則を組み込むことができます。